



児は、まさに 前の2校、和歌山中学校と海草中学校にたどりつく。現在では遠い過去の前の2校、津 覚えのある強豪が甲子園に名を残している。その歴史をさかのぼれば、 近年では箕島高校、智弁和歌山高校など、 記憶を受け継いだ「語り部」たちが、 出来事となってしまった両校の歴史を、和歌山の将来のために残したい。 夏フ回、 春5回の全国制覇、国内でも有数の実績を誇る和歌山の高校球 「野球王国わかやま」と呼ぶにふさわしい活躍を続けてきた。 「野球王国わかやま」を語り継ぐ。 高校野球ファンならずとも聞き

のをはじめとして、大正10年 権で史上初の連覇を達成した せていた。第7回(大正10年) 大会の場で圧倒的な強さを見 和歌山県代表の和中は、 、昭和3年の8年間に春夏合 日本の高校野球の草創期 (大正11年) の夏の選手 準優勝2回 全国

影響を受けた人物のひとりだ。 甲子園で桐蔭高校が準優勝し た際の中心選手、松嶋正治さ 草創期の選手たちから 年の 松



ける和中ナイン。

響は大変大きかった」。監督 くれました。 経験した大先輩が練習に来て 太郎さんら、連覇や日本一を 「井口新次郎さん、 選手に与えた影 小^¾ 川 正 時を知る〇Bたちの協力を受

ムを甲子園に導いた際も、

当

嶋さんが監督として再びチー

たから、 の世代に熱い思いを伝えてき を持っていた。OBたちが次 準優勝という大健闘を果た 指導を受けることもあった。 目を細めてい に強かったのではないか」 を味わってほしいという思い 員が後輩にも甲子園での感動 校だが、OBの支援もあって 前評判は高くなかった桐蔭高 本幸雄さんから監督としての 同じく練習に参加していた西**5 松嶋さんは当時を振り返 「私も含め、 和中・桐蔭は伝統的 指導する全

- ※ 1 和歌山中学校 現在の桐蔭高校。略称和中。
- ※ 2 海草中学校 現在の向陽高校。 ※ 3 井口新次郎(いぐち・しんじろう) 明治 37 〜昭和 60 年(1904 〜 1985)。和中時代の大正 10、11 年 (1921、1922) 全国中等学 校野球大会で、史上初の連続優勝に貢献。平成 10 年(1998)野 球殿堂入り。
- ※ 4 小川正太郎(おがわ・しょうたろう) 明治 43 ~昭和 55 年(1910) ~ 1980)。和中時代の昭和 2 年(1927)選抜中等学校野球大会 で優勝に貢献。昭和56年(1981)野球殿堂入り。
- ※5 西本幸雄(にしもと・ゆきお) 大正 9 ~平成 23 年 (1920 ~ 2011)。和中。プロ野球では監督としてパ・リーグ優勝8回。昭和 63年 (1988) 野球殿堂入り。
- ※ 7 丸山直廣(まるやま・なおひろ) 海草中一期生。海草中野球部の創 設に尽力。

昭和45年 音夏通算213勝169敗3分 智弁和歌山高校 智弁和歌山高校 智弁和歌山高校 智弁和歌山高校 箕島高校 箕島高校 優勝(選抜) 智弁和歌山高校 智弁和歌山高校 箕島高校 優勝 箕島高校 桐蔭高校 準優勝 市立和歌山商業 準優勝(選抜) 優勝(選抜) 優勝(選抜) 優勝 準優勝(選抜) 優勝 準優勝(選抜) 優勝(選抜)

経験の浅かった松嶋さんは、

(和歌山県高校野球年表)

全国中等学校野球選手権大会がはじまる

大正12年

和歌山中学校 準優勝

選抜中等学校野球大会がはじまる

和歌山中学校

優勝

昭和2年

和歌山中学校

優勝(選抜)

和歌山中学校 準優勝(選抜)

海草中学校 準優勝

海草中学校

海草中学校 優勝

|嶋清一 準決勝・決勝ノーヒットノーラン)

桐蔭高校 準優勝

太平洋戦争のため中止(昭和20年まで)

史上初1県から4校同時出場(選抜)

海草中エース嶋清一の 記憶を受け継ぐ

伝説の左腕』を出版した。

嶋清一投手のエピソードを集 第 25 回 ら4校(海草中、 史上初の出来事もあった。 年)の選抜大会では、 和中」を掲げる強豪校が次々 高校球児の山本暢俊さんは、 権を制した海草中だろう。元 チームは、嶋清一投手を擁し、 と登場する。第10回 になると、県内では そのなかでも特に印象的な 和中が全国的な強豪チーム 和中)が出場するという 『嶋清一―戦火に散った (昭和14年)夏の選手 和商 (昭和8 1 県か 「打倒 海南

関する本は一冊もなく、 伝えたいエピソードはどんど 0 球部の創設や、 材を進めるなかで、 手の記憶を受け継ぐ必要性を 嶋清一だが、その人となりに の2試合連続でノーヒッ ノーランを達成した大投手 ん増えた。 第25回大会の決勝、 「打倒・和中」 出版に踏み切った。 当時の選手 の思いなど、 海草中野 準決勝 取

※ 6 嶋清一 (しま・せいいち)

成。太平洋戦争にて戦死。

大正9~昭和20年(1920~1945)。海草 中時代の昭和 14年 (1939) 夏の甲子園で全 5 試合完封、2 試合連続ノーヒットノーランを達

例えば、野球部創立の中心

ど創立に懸命だったメンバー は大学受験に2度失敗するほ 海草中の一期生だが、なかに となったのは丸山直廣さんら

野球のためにがんばった人は

録に残らなくても、

和歌山の

もいたという。山本さんは「記

たくさんいる。そういうエピ

ソードを多くの人に知っても



嶋 清 戦火に散った伝説の左腕

山本暢俊著(彩流社 平成 19年/ 2007年)。甲子園準決勝、決勝の 2 試合連続ノーヒットノーランと いう不滅の記録を達成した大投手・

ら、 校野球部では、 会長もそのひとりだ。 向陽野球部〇B会の堀内孝貢 現在もグラウンドに出て選手 らいたい」と話している。 を指導するOBは多い。海草 かつての和中〇Bのように 嶋投手について勉強する 練習のかたわ 向陽高

昭和14年(1939)、夏の甲子園で優勝した海草中ナイン

後の子どもたちに伝えてほ といってもピンとこない。 んは こともすすめており、 しい」と期待を込めている。 の子どもたちが勉強した和歌 ののありがたさがわかる。 0 野球史を、 20 年、

みんなの「野球王国」

さんには忘れられない思い出 桐蔭高校の監督時代、 松嶋

「現役時代は歴史や伝統 年をとればそういうも 堀内さ 30 年 今 山県民には、 らっているんだと感動しまし さんにこんなに応援しても たちが拍手で迎えてくれた。 橋本市に入ると、道行く住民 ついたチームが県境を越えて の紀和大会後、バスで帰途に 利する必要があった。 奈良県代表との紀和大会に勝 子園に出場することはできず 校は県大会に勝ち抜いても甲 がある。 驚きましたね。 のものじゃないと」。 高校野球は選手や監督だ 当時、 今も昔も野球に 和歌山県の高 県民のみな ある年 和

わかやま」の灯は消えない 対する強い情熱がある。 意がある限り、「野球王 写真提供 / (左上)古角俊郎氏 (中央)わかやまスポーツ伝承館 (他)松嶋正治氏

エース石井毅氏に聞く箕島とその時代

いている。現在は関西独立リーグの紀州レンジャーズで 井毅投手の力投とともに、多くの県民の脳裏に焼き付 説を残した昭和54年(1979)、の戦いは、エース石 チームと言えば、尾藤公監督の箕島高校だろう。 戦後、和歌山の高校野球ファンの心を最も熱くした 春夏連覇、 奇跡の延長十八回サヨナラと、数々の伝 なかで

監督を務める旧名石井毅さん、現木村竹志さんに、

延長十八回について伺いたい と思います。 まずは、 やはり春夏連覇

箕島高校とその時代を語っていただいた。

えていていただき、 た。多くの県民の皆さんに覚 なかで非常に大きな試合でし 会が多いですね。私の人生の 30年以上経った今でも話す機 川県)との試合については、 いと思っています。 あの夏の大会、特に星稜(石 ありがた

でしたか? ―当時、県内のレベルはどう

もある強豪校、 はすでに甲子園での優勝経験 私が入ったときには、 県内の学校は 箕島

どこも「打

関する資料を豊富に取り揃えている。

同館の展示は野球だけに限らず、

和歌山のスポーツ史に

県出身選手

フォームを試着し、ベンチで記念撮影することもできる。

実際に使用していたベンチを設置。

和中や海草中のユニ

内出身プロ野球選手の記念品などが並ぶ。甲子園出場体験

館内には、各高校のユニフォームや甲子園の優勝旗、

県

コーナーでは、平成19年(2007)まで甲子園球場で

味わうことができる。

多くの球児、指導者によって受け継がれてきた。

「野球王国わかやま」の歴史は、

戦前からの長きにわたり

わかやま

スポーツ伝承館では貴重な展示を通じ、その歴史を気軽に

があって何とか1点取り、よう でした。 歌山高)戦は1-0の大接戦 の夏の予選、 強かったですね。特に3年生 倒・箕島」で挑んでくる。 やく勝てたのを覚えています。 正田耕三選手のエラー**2 市和商 (現市和 手

た先輩はいますか? **いうことですね。影響を受け** やま」の伝統は続いていたと 戦前からの「野球王国わか

り記憶にありません。甲子園

春夏の甲子園連覇に貢献。夏の甲子園では星稜高 と延長 18 回の死闘を演じる。甲子園 通算 14 勝。昭和 57 年 (1982)、西武ライオン ズに入団。現在は関西独立リーグ紀州レン

【取材協力】 木村竹志 氏 (旧 石井毅氏) 箕島高校時代の昭和 54 年 (1979) に ジャーズの球団代表、監督を務める。

んや藤田平さんのことはあま いる。私の世代は、 有名な投手が身近なところに るんです。甲子園で優勝した テリーを組んでいたことがあ その人が島本講平さんとバッ 同じ地区に住んでいました。 箕島で捕手をしている先輩が 野球を始めた小学生のころ 東尾修さ

スポーツ史を体感和歌山の

リートのユニフォーム展 中理恵選手らトップアス ントや、体操五輪代表の田 が五輪で獲得したメダルに触れるイベ 示も人気だ。 午前10時~午後7時 (入館は閉館の30分前まで) 1月1~3日 休館日 入館料 無料 所 和歌山市本町2-1フォルテワジマ3階 073-423-2215 ぜひ遊びに 来て下さい!

住

のイメージが強いですね。 のヒーローと言えば講平さん

かった。 ち込んでいったのでしょう? 指導が受けられる」とうれし うな感じで、尾藤監督の箕島 習しましたよ。中学も同じよ ちでクラブチームをつくりま 野球のチームがなく、自分た 高校に入ったときは「やっと で、自分たちで考えながら練 は、どのようにして野球に打 した。指導者がいなかったの ―島本選手に憧れた石井少年 子どものころは地元に少年

> た。 場する機会も多くなりまし りましたか。 の活躍を意識することはあ 過去の和歌山県代表校

なんだと。 る和歌山県の高校野球部代表 ようになりましたね。伝統あ の歴史を学んでから意識する いろんな資料や本で戦前から ませんでした。高校に入って、 中学までは正直、よく知り

ですね。

と思います。そのためには、 期待することはありますか? 日本一をめざしてもらいたい まえて、今後の和歌山の野球に ―そういったご自身の体験を踏 今の子どもたちには、ぜひ 校の監督を務め、春3回、夏1回の優勝経験を持つ。

―高校時代は全国大会に出

げたい。それが地域全体の活 も大切でしょう。そして、子 性化につながっていけばい なって和歌山の野球を盛り上 どもから大人までが一体と てきた伝統を伝えていくこと

※1 尾藤公(びとう・ただし) 昭和17~平成23年(1942~ 2011)。昭和41年(1966)から約30年間にわたって箕島高 昭和37年(1962)~。市和歌

※3 島本講平(しまもと・こうへい) 昭和27年(1952)~。箕島 高校時代の昭和45年(1970)春の甲子園で、エースとして

※4 東尾修(ひがしお・おさむ) 昭和25年(1950)〜。箕島高校 時代の昭和43年(1968)、エースとして同校の甲子園初出 場に貢献。プロ野球での通算勝利数251。パ・リーグMVP2 回。平成22年(2010)野球殿堂入り。

※5藤田平(ふじた・たいら) 昭和22年(1947)~。市和歌山商 高時代の昭和40年(1965)春の甲子園で準優勝に貢献。プ □野球での通算安打2064本。首位打者1回。

球教室やボランティア活動など、

効率的な学習方法についてアドバイスしている

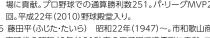
塾で勉強を教えており、子どもたちに部活動との両立や 地域住民との触れ合いにも積極的だ。何人かの選手は学習

※2 正田耕三(しょうだ・こうぞう) 山商高。広島東洋カープ入団後、首位打者2回、盗塁王1回。

-ムを優勝に導く。卒業後、南海ホークスに入団。

私たち大人が日本一に挑戦し





県民の野球熱を盛り上げる。 野球王国の「いま」を牽引 手ひとりひとりが全力プレーで る。木村竹志監督を中心に、 球界を牽引する旗手となってい 西独立リーグで活躍する紀州レ ンジャーズは、現在の和歌山 選手はプレーだけでなく、野 平成21年(2009)から関 選

2012年関西独立リーグ後期日程表(紀州レンジャーズホームゲームのみ)				
	日にち	対戦カード	球場	時間
	8/15(水)	大和侍レッズ	紀三井寺	18:00
	8/24(金)	06ブルズ	紀三井寺	18:00
	8/25(土)	兵庫ブルーサンダース	紀三井寺	18:00
	8/29(水)	大和侍レッズ	紀三井寺	18:00
	8/31(金)	神戸サンズ	紀三井寺	18:00
	9/7(金)	06ブルズ	紀三井寺	18:00
	9/9(日)	神戸サンズ	紀三井寺	13:00
	9/14(金)	06ブルズ	紀三井寺	18:00
	9/21(金)	大和侍レッズ	紀三井寺	18:00
	9/23(日)	兵庫ブルーサンダース	御坊	13:00
	10/13(土)	神戸サンズ	紀三井寺	18:00
	10/20(土)	大和侍レッズ	紀三井寺	18:00
	10/21(日)	神戸サンズ	紀三井寺	18:00



野球界の活性化に思いをはせている。

に子どもたちの成長につながるはずです」と話し、

ようなプレーや態度を心がけてもらいたい。それが将来的

木村監督は「選手には、和歌山の球児たちの見本になる

よる方言の違いなどを再発見し、そのおもしろさを実感していただきたい ことばなど、私たちのお国ことばは表現が豊かだ。 まわりの人々との会話を通して、 地域や年代に な文化である方言への愛着を深めてもらおうと「和歌山弁」にスポットをあてる 余所の人には初めて耳にする(和歌山弁では〝ききはじめ〞) ことば、響きにインパクトのある 本誌タイトルにある「ほうぼ」も「あちこち、そこら中」などの意味をさす方言だ。今回は身近 私たちが、日頃から当たり前のように使っている話しことば「方言」

消えゆくことば 生きていることば

が増えている。 の意味を理解できても、 おいて、その衰退の勢いは著しい。ことば 達で地域間の差がなくなりつつある現代に れてきた方言だが、 遠い昔から変化しながら私たちに伝えら 交通や通信の急速な発 それを使わない人

心の機敏まで通じ合うことのできる大切な 微妙なニュアンスを的確に伝え、 私たちにとって、方言は共通語にはない お互いの

しさはなく 地域に根ざす方言には共通語のよそよそ 親しみや温かみが感じられる。

コミュニケーションツールだ

ていきたいふるさとの財産といえる ている「ことばの文化」 私たちが日常的に使い、 は後世に伝え残し 暮らしの中で生き

でえらい広いさけ 住んでるとこ違たら ことばも違わいてえ

とは、 ことばとして取り上げる 混入もあるため、 紀中・紀南など地域によって変化し多様で な境界線はない。本誌における「和歌山弁 ひと口に「和歌山弁」と言っても、紀北 また人々の交流により、 共通語になく県内で用いられている 使用されることばに明確 県外からの

①ザダラ変換→50音のザ行・ダ行・ラ行が混同して発音される。

れいどうこ(冷蔵庫)・らいこん(大根)・ころも(子供)などといった具合。 特に「かだら」は「体」というひとつの単語の中でダ行・ラ行の両方が入れ替っており、 ザダラ変換の極致とも言える。

- ②敬語が少ない→共通語にあるような、丁寧語や敬語にあたる表現がわずかである。
- ③古語の残存→奈良時代や平安時代、室町時代などの古い言い回しが残っている。

④省略や長短音の転換

【省略の例】 あつなる(暑くなる)・おきい(大きい)・こぶ(昆布)・くりーむ(アイスクリーム) 【短音→長音の例】きー(木)・てー(手)・にー(2)・ごー(5)・じー(字) 【長音→単音の例】おとと(弟)・いもと(妹)・とふ(豆腐)・こーひ(珈琲)・さと(砂糖)

「~してある、~している」例:歩いている→歩い**ちゃーる**、歩い**たーる**、歩き**やる**

「~してしまった」例: 転んでしまった→こけて**もた** 「~しましょう (勧誘)」例: 行きましょう→行こら、行くろ、行くれ

「~できない(否定形)」例:行かない→走れ**やん**、走らん 「~していた(過去形)」例:見ていた→見てと、食べていた→食べてと

「~しなさい(命令形)」例:寝なさいな→寝よし、寝なー、寝やんせ

「~してあげよう」例:手伝ってあげましょう→てつど**ちゃらー**、てと**たらー**

「~ですよね、~なんだよね (同意を求める確認断定)」例: 言うよね→ゆうわいしょ、ちゅわして 「~じゃないか、~だよ (断定)」例:駄目じゃないか→あかな**いしょ**、あかな**して**、

そうだよ→そうじょ、良いね→えぇわっしょ、えぇわいしょ、 ~するとこや**して**、雨や**して**

日弁の主な特



たくさんの地方名がある魚たち。 紀州の先人たちによるネーミン グセンスが溢れている。

()内は標準和名

サイラ (サンマ)

「佐伊羅魚(さいら)」は古称。 現在の「秋刀魚」と表記されるのは大正 時代に入ってからである。

学名のコロラビス・サイラ (Cololabis saira) の語尾にも方言である"saira' が使用されている。

カジヤゴロシ (イサキ)

食べた鍛冶屋が硬い骨をのどに詰まらせ て死んだという説と、硬い鉄を扱う鍛冶 屋でもこの魚の骨にはかなわないという 説がある。

キョウゲンバカマ (カゴカキダイ)

体の模様が、狂言劇に使う太い縞模様の 袴に似ていることから由来。

イガミノオバ (アオブダイ)

赤褐色のイガミ (ブダイ) に対して、体が 青みがかった魚。

江戸時代に紀州藩が編纂した『紀伊続風 土記』にもその名が記されている。

なぜ、叔父さんではなく、叔母さんなの だろうか?

ナベワリ (イシダイ)

紀南の地方名。

とても美味しいために、鍋をつつきあって 割ってしまうということから由来。

トウヒャク・マンビキ (シイラ)

群れをつくる習性から、1匹釣れるとあと は次々と10も100も釣れる、何万匹も 釣れるという意味。

オオクチ (ヒラメ)

カレイに比べて口が大きいため。



は肯定にしてしまう独特の表現。

やつする=おめかしする、着飾る。他に「やつす、かたやる」など。



おかしん=菓子。他に「かしん、おちん」など。 「遠足のおちんは300円まで」などと書いたプリントが学校で配られる。

はらおきい(腹大きい)=お腹が一杯。

妊娠しているわけではない、和歌山では、オイヤン(オジさん)でもお腹が大きくなるのだ。 **ほれみーそー**=そら見ろ(そらご覧なさい、そら見たことか)。他に「ほれみー、ほれそ、ほれみ やんし」。「ほれ (そら、ほら)」 + 「みー (見なさい、ごらん)」 + 「そー (強調の終助詞)」



みずせった=ビーチサンダル。水辺で使用する雪駄の意。「せった」は、サンダル全般をさす。 じてこ=自転車。他には「テコ、チャリ、チャリンコ」など。

とらかる=転ぶ。他に「こける、こかる、まくれる」など。「まくれとぶ」=激しく転ぶ。

もじける=壊れる。他に「みしける、みじける、しもれる」など。

にえる=青アザができる。他に「あおにえる、くろにえる」など。

つく=押す。和歌山では、自転車も判子も「つく」と言う。また冠水することを「みずつく」と言う。 いぬ=帰る。去る。古語の「往(い)ぬ」。

さし=定規、物差し。アイスクリーム を「アイス」または「クリーム」と言っ たりするように和歌山弁は省略が多い。 **バレーシューズ**= (学校などで履く) 上履き。バレエのトゥーシューズでは

らっしゃわえ=どうしようもないな。 さっぱりだめ。

「臈次もない (埒もない)」+

「わえ、わや (無茶苦茶だ)」





JR 和歌山紡

上から読んでも 下から読んでも・

2)



豊臣秀吉との交渉で紀州征伐から高野を救 い、橋本の発展に尽力した応其上人(おうご しょうにん) が再建した里寺。地元の人々は応 其の名を地名などに残した。



清水の街並み

6

2 紀伊清水

ことができる。

紀伊清水駅近くにある釣り池。以 前は紀州製竿組合のへら竿研究池 だったが、現在は竿の貸し出しも あり気軽にヘラブナ釣りを楽しむ

橋本市を一望スポット

紀ノ川の南側となる定福寺の先の高台か

らは、橋本市を眼下に臨むことができる。

ち並ぶ街路を抜け、郊外へ。

かけて定福寺に到着した。 るやかな坂道を登り、

の並ぶ 楼門の けていった。定福寺から50分ほ らを訪れつつ、 かり 道に祀ら 国道まで戻り、 ここから登ってきた坂道を下 「学文路駅」のある西をめざ Ó 大常夜燈籠」、だいじょうやとうろう 紀ノ川南岸にある三軒茶屋 「清水の街並み」を 「成就寺」 西はぎょうな れた「六地蔵」、 庵ん 趣きのある邸宅 それから改め 釣鐘の 西行法師 あ

①橋本駅

JR 西日本と南海電鉄の共同使用 駅。近年バリアフリー化工事が完 了した。駅前には高野町出身の漫 画家・楳図かずおのキャラクター「ま ことちゃん」の像がある。

> に昭和の薫りが色濃く残る。かつては高野街道としてにぎわい、 橋本市内を流れる紀ノ川の南側に位置しており、

今回、私たちは清水、そして西にある学文路周辺の寺社を巡った 清水の街からはそうい 温かみのある街。 った印象を受けた。



を訪れた。そこからは、

高台にある







3定福寺

橋本市を一望できる高台に位置する。橋本 市の文化財となっている九重石塔 (1285年 建立)には「一村大飢饉の際に非ざれば発 掘すべからず」とある。

⑦成就寺

④大常夜燈籠 (三軒茶屋)

かつて茶屋が並んでいた名残から三軒茶屋と呼ばれる紀ノ川 南岸のこの地に、灯台の役割として1752年に設置された。 橋本市の指定文化財となっている。



真言宗の寺院。地元でば丁 田の成就寺」と呼ばれてお り、釣鐘のある楼門をかま えている。1852年に紀ノ 川が氾濫した際、船を出し 民家の屋根に避難していた 住民を救助した船頭「船越 喜右衛門」の碑がある。



9六地蔵

古くより高野山へ参拝に 来る旅人の安全祈願とし て、西行庵から桜茶屋ま での間に六体の地蔵が建 立されており、今なお地 域の信仰を集めている。



学文路中学校

することができた。

間ほど。古き時代の空気を堪



⑩学文路駅

青い三角屋根の小さな駅。その名前 から受験生に人気を博しており、試 験シーズンには学文路天満宮で祈祷 を受けた入場券を販売している。

六地蔵

学文路天満宮の鳥居



刈萱道心と呼ばれた加藤 左衛門繁氏と、その息子 石童丸が修行したと伝え られる場所。共に親子と 名乗ることのできなかっ た悲話が浄瑠璃等に取 り上げられ、現在もなお 人々の涙を誘っている。



⑧天満宮の鳥居

学問の神様として知られる菅原道真公 を祀っている神社の手前1キロにある 「一の鳥居」。地元では丁田の鳥居と呼 ばれており、かつては高野を参詣する 旅人も立ち寄り賑わっていたという。

どの道のりをゆき、学文路駅に 学時間も含めると、およそ4 情緒あふれるこのコースは、 れる「**学文路苅萱堂**」がある。 童丸伝説や人魚のミイラで知ら たどり着いた。駅近くには、 歴史街道と呼ぶにふさわし 石

- (10)



受けて南方の生き物やサンゴな 和歌山の海は、

イベントに参加しよう

今年で創立30周年を迎える和

るなど、多種多様な生物の宝庫

豊かな和歌山をテーマに、 すむ生きもの約五五○種類六千 歌山県立自然博物館は、 約二千点を展示している。 動植物・昆虫・貝・化石の 黒潮の影響を 水に 自然 となっている。

点

に飛び込んでくる。「和歌山の自然」にこだわった個性あふれる 数々の展示物は、見るものを飽きさせない。 館内に足を踏み入れるとまず、黒潮の海を再現した大水槽が目 ども多い一方、 の潮の影響で内湾の魚も見られ 北は瀬戸内から

めているのは「化石の発掘」 ざまなイベントが企画されてい 「魚の餌やり体験」など、さま 同館では年間を通して、 その中でも特に人気を集 ルームでの 「お話し会」、



【黒潮の海】

幅 15m 一面ガラスの大水槽では、水中を悠々と泳ぐナルトビエイやホシエイ、 ンアジなどの回遊魚を間近で観察することができる。

紀伊水道・枯木灘・熊野灘といった和歌山の特徴的な海の様子を再現した水槽が並び、 それぞれの違いを見ることができる。通路の反対側には触って観察できる魚の模型や

ても参加したりしている。 地質調査にはアドバイザーとし を開催したり、 積極的だ。近隣の小中学校で教室 でなく、地域の教育普及活動にも 館の学芸員らは、 また、自然をこよなく愛する同 由良町白崎海岸の 館内の仕事だけ

博物館のもうひとつの役割

ることもあるという。 対し1400名以上の応募が来 イベントだ。 100名の募集に

に多大な功績を遺した小川由一

氏 (1889 -1 9 7 0

【虫眼鏡でのぞこう】

【和歌山の海、魚と棲み家】

製が並んでいる

-面に並べられた小さな水槽の中に は、個性豊かな生きものがすんでいる。

ウニやヒトデ、ナマコなどの生きも

愛女子短期大学教授で植物研究 開館のきっかけは、 和歌山

館が誕生することになった。

小川植物コレクションのよう

ものを造ろう」ということで、

ならみんなに親しんでもらえる

現在のような水族館主体の博物

ことになり、また、「せっかく

めには、博物館が必要だとい たことに始まる。県内保存のた 保存しようという動きが起こっ 川植物コレクション)を県内で た五万点以上もの植物標本(小

が亡くなった後、

同氏が収集し

年

【潮間帯コーナー】 のに実際に触れることもできる。



紀州の植物研究家



明治 22年 (1889)、現在の岩出市に生まれた小川由一氏は和歌山県師範学校を 卒業後、和歌山高等女学校教諭、和歌山信愛女子短期大学教授などを歴任、その かたわら和歌山県内を渡り歩き植物採集を行う。昭和36年(1961)、和歌山県生物 同好会の初代会長を務め、自然観察の指導と後進の育成に多大な貢献をし、晩年に は伐採の危機にあった摩尼山天然林の保護を強く訴えた。カツラギスミレ・キイシモ ツケ・ヒノミサキギク、これらは小川由一氏が発見した新種で和名には和歌山の地名、 学名には小川の名が残されている。(右の写真は、キイシモツケの標本)



特別な企画展が開催されるとき

歌山

一の自然は、

大規模な開

環境の変化にも弱い。

そのため

な植物標本は、虫がつきやすく

れてい

を施した収蔵室に厳重に保管さ

外は、

湿度・温度・防虫対策



【和歌山の昆虫】

人里・水辺・森林…場所によって種類の 変わる昆虫の標本が展示。土壌の生物を 顕微鏡で観察できるコー



【和歌山の川や池や森】

メダカやコイなどの淡水生物も観察でき ます。また、川の様子を模したジオラマや、 森の動物達の剥製も展示されている。



海岸にすむ貝をはじめ、池や川、森林にすむ陸貝など和歌山の多種多様な貝の展示。化 石コーナーには和歌山県で初めて発見された恐竜の歯や化石などが展示され、大きなア ンモナイトに実際に触れることもできる。

標本 管さ ŧ 兀 0 利 依 れ 千 管理 用 頼 7 点 さ に応じ お 弱 ŧ り れ 0 魚類の る。 そ 博 て調 れら 物 Z)標本 館 0 查 よう 0) 0 標 Ė 研

館には植 物標本の 他に 大切 な 究 本 保 自 も

う つつあ を通 け、 バランス変化などの影響 発 みてはいかがだろう。 分と自然とのつながり 触 減 度見つめ直す機会にし して身近な自然を体感 ゆっくりではあるが り れ合うことができる る状態だとい 外来種による生態 つつある昨今、 博物 を 自 壊 を 系 館 然 れ

ほっまかは

AKAYAM

末山

5

和歌心

風物詩

見ることができる。 見物客は屋形船の中からその様子を間近に の漁法だ。 物詩に「鵜飼」がある。 徒歩漁法」といわれる全国唯 私の生まれ故郷である有田地方の夏の風 松明を掲げて川の中を歩いて鮎を捕る。 一人の鵜匠が 有田川の鵜飼 羽の鵜を綱で操 日本最古 は

同組合は、この伝統ある「徒歩漁法」 最盛期に9人いた鵜匠も、 れている。昭和31年 城主・石垣氏が、 飼観光協会」は、その後昭和35年 の業者8人が集まって設立した 漁法は、室町時代に鳥屋城 県の無形文化財にも指定されているこの 後継者もなかなか現れない現状だが 地元の人に教えたのが始まりといわ 「有田川 鵜飼協同組合」 木曽川の鵜匠を有田川 (1956)(有田郡有田川町) 今では4人に減 一有田川鵜 となった。 (1960)ار 一の保 地元 に呼

ことも…。

れば必死で足漕ぎをし

なければならない

残念ながら、学生だった私には、

重労働で 一徒步

景と、

鵜が鮎を捕った瞬間の歓声を間近で 鵜匠と水面に揺れる松明の美しい光

か

漁法」というものを知る由もなかっ あること以外、この歴史と伝統ある

見ることができたという記憶は、

今でも心

に残っている。

鵜を操るのではなく、 に合わせて移動させる仕事だった。 仔と活性化に取り組んでいる。 に紹介され、 をした経験がある。 さて、私は、 見物客を乗せた屋形船を、鵜匠 この鵜飼のアルバイ 学生のころに知人 と言っても、 川の中に入

> を操り、 数名で一 隻の

by

竹やん

い船を押す。 れば流れに逆ら されないように 言えば、 「前進」と言われ 「止まれ」と 船が流 足



集後記

鵜飼を体験されてはいかが

読者のみなさんもこの夏

だろうか。

アルバイトとし

てではなく、見物客として…

写真提供:有田川鵜飼協同組合

こんにちは! 「ほうぼ」第9号をお手に取って頂 きありがとうございます。

実は、今号から編集スタッフが変わりました。い かがでしょう?これまでの号と比べ、何か違いに気 づかれましたか? (ちなみに、下記 URL から前号 までをご覧頂けます。)

故郷・和歌山をこよなく愛するスタッフが、読者 の皆様に喜んで頂ける誌面を…と議論を重ね、取 材に奔走しているわけですが、特に今号からは、 その思いを読者の皆様にストレートに表現し、読 者の皆様に本誌をもっと身近に感じて頂きたいと 思って取り組んでいます!

まだまだ未熟ですが、皆様からのご声援や叱咤 激励が成長の糧です。応援よろしくお願い致します。 第9号編集長 岡 京子

お詫びと訂正

ほうぼ8号6ページの文頭にて誤りがございま した。 奈良時代を弥生時代と訂正させて頂き ます。ご迷惑をおかけして申し訳ございません

が川底に届けば

い

いが、

届か

な

和歌山に恐竜がいたころ」+ クイズにお答え頂いた方の中から抽選で「図録 缶バッチ」の和歌山県立自然博物館グッズセットを

\ガキ

クイズの答え

ウイング 和歌山

ほうぼVol.9の入手場所

本誌のご意見・ご感想

ご住所 お名前 年 齢性別

紀ノ川ビル2F和歌山市市小路15 「ほうぼ・クイズ&プレゼント」係 (株)ウイング

164018464

次のうち、和歌山弁でないものは どれでしょう?

ヒント 本号のどこかに 答えが載っています。

-_ズ ③つっかけ

Vol.8の答えは『②中国』でした。

官製ハガキまたはメールにて ①ご住所 ②お名前 ③年齢 ④性別 ⑤ クイズの答え ⑥ほうぼvol.9の入手場所 ⑥本誌へのご意見・ ご感想を必ずご記入の上、下記へふるってご応募ください。

1次メ切:2012年9月末日(当選人数/5名様)2次メ切:2012年10月末日(当選人数/5名様)

合計10名様にプレゼント!!

■ハガキ : 〒640-8464 和歌山市市小路153-1 紀ノ川ビル2F ㈱ウイング「ほうぼ・クイズ&プレゼント係」 ■メール : houbo@w-i-n-g.jp ※応募くださいました個人情報は、プレゼントの発送及び弊社からのお知らせ以外には使用しません





株式会社ウイング/印刷物の企画・デザイン・製造を主体とし、 の活用を視野に入れた「新しい印刷業」をめざしている企業です。 出版サービスや印刷付帯サービス、 さらにデジタルメディアなど [沿革] 創業 1972年。設立 1981年。2005年に中央印刷株式会社から株式会社ウ 本社、和歌山市梶取。従業員53名。

和歌山の歴史・文化を掘り起こし郷土愛を育む一助になればと、弊社が自費で年 2 回発行している情報誌です。 「ほうぼ・わかやま」発行について この活動を通して、郷土と社内活性化の両立を図ることを目的としています。

